

2022年度 小委員会活動成果報告

(2023年2月10日作成)

小委員会名	G 空間社会デザイン小委員会	主 査 名：小林 祐司 就任年月：2021年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：渡辺 俊
設 置 期 間	2021年4月 ～ 2023年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的) G 空間社会 (地理空間情報高度利用社会) 形成のためには、地理空間情報利用の多様化をより一層進めることが求められる。とりわけ、コロナ禍における地理空間情報の可能性を示し、より効率的で安全・安心な建築・都市、地域空間のあり方を示さねばならない。さらには、地理総合をはじめ、教育分野においても地理空間情報の活用が進めば、全ての世代が関わる新たな空間デザインの潮流を生み出す可能性すら秘めている。そこで本小委員会においては、多様な地理空間情報の活用はもとより、AI・機械学習・BIMなどの最新技術とGISの連携による地域空間デザイン手法の提案を行う。</p> <p>初年度：研究発表・情報交換・意見交換 小委員会主催・共催のシンポジウムを開催</p> <p>2年度：共同研究の検討 情報・システム・利用・技術シンポジウムでOSを企画 建築学会大会OS開催、建築学会大会研究協議会開催を検討</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：小林祐司 (大分大学) 幹事：山田悟史 (立命館大学) 委員：中澤公伯 (日本大学), 大内宏友 (日本大学), 大場亨 (市川市), 瀧澤重志 (大阪市立大学), 藤井健史 (立命館大学), 阪田知彦 (建築研究所), 関口達也 (金沢大学), 北垣亮介 (北海道大学)	
設置WG (WG名:目的)	なし	
2022年度予算	210,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：—

項 目	自己評価
委員会開催数	1回 (メール審議)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 第45回情報・システム・利用・技術シンポジウム ・小委員会企画OS「G空間社会と都市・地域環境」 参加者数32名 (現地会場16名、オンライン16名) 『第45回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. WGの開催回数は当初3回程度を予定していたが、日程の問題でメール審議1回にとどまった。 2. 情報・システム・利用・技術シンポジウムにおいてOSを開催した。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員それぞれの学内業務の影響もあり、オンラインでも日程調整が困難な状況であった。
その他	なし